

学 会 だ よ り

2007年4月～2008年3月

研究会の開催

〈商学会研究会〉

商学会研究会 第1回 5月10日(木) 13:30～15:30 報告者 河西邦人 氏 (本学商学部教授) テーマ 「地域経営における協働戦略」
商学会研究会 第2回 6月7日(木) 13:30～15:30 報告者 北林雅志 氏 (本学商学部教授) テーマ 「英系国際銀行のパフォーマンス (1870-1913) —— 総資産利益率と株価収益率を中心に ——」
商学会研究会 第3回 7月5日(木) 13:30～15:30 報告者 三好 元 氏 (本学商学部教授) テーマ 「政府系中小企業金融機関の創成 —— 米, 日, 英, 独の場合」
商学会研究会 第4回 8月4日(土) 14:00～16:00 報告者 石原昌家 氏 (沖縄国際大学教授) テーマ 「最近の私の研究について —— 石原昌家先生を囲んでの沖縄学研究会 ——」
商学会研究会 第5回 10月4日(木) 13:30～15:30 報告者 杉本 修 氏 (本学商学部教授) テーマ 「北海道商業史の課題」
商学会研究会 第6回 11月1日(木) 13:30～15:30 報告者 北原 直 氏 (本学商学部教授) テーマ 「日本の魚食文化」
商学会研究会 第7回 12月6日(木) 13:30～15:30 報告者 坂下紀彦 氏 (本学商学部教授) テーマ 「タイの会計制度について」

<経済学部研究会>

経済学部研究会 5月31日(木) 15:30~17:30 経済学部研究資料センター〔共同研究室(3-408)〕 報告者 久保田義弘氏(本学経済学部教授) 報告課題 「固定性と伸縮性——固定価格経済——」
経済学部研究会 6月28日(木) 15:30~17:30 経済学部研究資料センター〔共同研究室(3-408)〕 報告者 浅川雅巳氏(本学経済学部准教授) 報告課題 「社会的分業の〈ネットワーク〉化と商品生産の揚棄」
経済学部研究会 7月26日(木) 15:30~17:30 経済学部研究資料センター〔共同研究室(3-408)〕 報告者 加藤美穂子氏(本学経済学部講師) 報告課題 「諸外国における財政規律維持策と有効性の検討」
経済学部研究会 11月29日(木) 16:00~17:30 経済学部研究資料センター〔共同研究室(3-408)〕 報告者 下山 朗氏(釧路公立大学経済学部専任講師) 報告課題 「警察サービスの外部性について」

著書・論文・翻訳など

- 石 井 光：(論文)「スピルオーバーを伴った2つの垂直的關係にある寡占における共同研究開発の厚生効果」*応用経済学研究*, 第1巻, 29~40ページ。2007年。
日本応用経済学会
- 久保田 義 弘：(論文)「古典派あるいは新古典派の貨幣理論」『*商経論集*』第24巻第3-4合併号 2008年3月
- 児 玉 敏 一：(分担執筆)『*人事労務管理用語辞典*』ミネルバ書房, 2007年4月25日
(論文)「中国現地企業の環境適応戦略：アモイ市における事例から」『*札幌学院商経論集*』第4巻第1号, 2007年9月(学術研究論文)
- 佐々木 洋：(論文)戦後日本資本主義の政治経済年表(1955~2006年)について『*札幌学院商経論集*』(2007.9) 24/1, 111-130
：日本資本主義の設備投資循環(2003~2007年)の分析視角——戦後第VI期

設備投資循環（ジュグラール循環）上昇過程の屈折局面『札幌学院商経論集』（2007.11）24/2，111-163

：（翻訳と解説）放射能毒殺（ポロニウム-210）事件をめぐるジョレス・メドヴェージェの洞察『労働運動研究』（2007.11）復刊/18，88-95

：「リトヴィネンコ事件」——プーチン関与説と二つの異説を関連本から追う——『週刊金曜日』（2008.3.14）/694，42-43

：（著書）共著『スターリンと日本』（現代思潮新社，2007）ISBN 9874329004575

白石英才：（資料紹介）「ニヴフ語話者が所有する録音資料について」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』10。101-104 ページ

：（著書）『ニヴフ語音声資料4』副題：レオニード・イウヴノヴィッチ・ユカイン。札幌学院大学。2007年8月

：（論文）Topics in Nivkh Phonology『音韻研究』11。115-116。2008年3月

中村永友：（論文）Distribution of Horizontal Distance Traveled by Saltating Sand Grains in Air, Coastal Sediments '07, Proceedings of the Sixth International Symposium on Coastal Engineering and Science of Coastal Sediment Processes, 1255-1268, Nicholas C. Kraus, Julie Dean Rosati (eds), May 13-17, 2007, New Orleans, Louisiana. (共著者) Shintaro Hotta, Susumu Kubota

：（著書）「混合分布モデル」,『統計・データ科学事典』, 杉山高一・藤越康祝・杉浦成昭・国友直人編, 朝倉書店, 2007.6

：（論文）焦点をもつ回帰直線群の推定とその周辺, 応用統計学, Vol.36, No. 1, 31-50, 2007.7 (共著者) 土屋高宏

：（論文）焦点回帰モデルの精確推定, 札幌学院大学商経論集, Vol.24, No. 1, 55-66, 2007.9 (共著者)：土屋高宏

：（論文）Toward a Software Development Model for Automatic Marking Software, Proc. of ACM Special Interest Group on University and College Computing Services (SIGUCCS) Fall 2007 Conference, pp.190-193, (Oct.7-10, 2007, Orland, Florida, America), (共著者) Hidekatsu Koike, Kiyoshi Akama, Chiharu Ishikawa, Shinya Watanabe

：（論文）ある種の並べ替え算法における分布について, 札幌学院大学商経論集, Vol.24, No.2, 31-47, 2007.11 (共著者)：土屋高宏

：（論文）飲食店における受動喫煙対策の現状と課題——北海道「空気もお

いしお店推進事業」登録店の調査から——，厚生の指標，第54巻第13号，27-34，2007.11（共著者）北田雅子，武蔵学

播磨谷 浩 三：(論文)「メガバンクの誕生——市場はいかに評価し，効率性はどうか——」(家森信善氏，小林毅氏との共著)宮島英昭(編著)『日本のM&A——企業統治・組織効率・企業価値へのインパクト——』東洋経済新報社，所収(pp.109-138)。

：(論文)“Impact of nontraditional activities on scale and scope economies: A case study of Japanese regional banks,”(単著)Japan and the World Economy, Vol.20, pp.175-193.

山 田 智 哉：(分担執筆)『統計・データ科学事典』正準相関分析の項目を担当，朝倉書店，2007年6月

研究発表・講演など

浅 川 雅 巳：(学会発表)「社会的分業の〈ネットワーク〉化と商品生産の揚棄」札幌唯物論研究会定例研究会における報告 2007年7月14日

児 玉 敏 一：(研究発表)日本経営教育学会全国大会(高松大学)，「中国ベンチャー企業の経営戦略；大競争時代の経営管理」(単独口頭発表)，2007年11月24日

坂 下 紀 彦：(研究発表)The case of use of activity-based costing at Fukuoka Waterworks Bureau. 研究会名：The study meeting on budgeting in Chiangmai University. 場所：The faculty of Business Administration, Chiangmai University. Chiangmai, Thailand. 開催年月日：2007年9月7日
：(講演)「企業の経営実態を知りましょう——経営分析入門——」第5期江別経営塾〔札幌学院大学〕2007年〕11月29日

佐々木 洋：(学会発表)「日本資本主義の景気現局面」経済理論学会第55回大会 横浜国立大学 2007年10月21日

白 石 英 才：講演(招待)Topics in Nivkh Phonology, Phonology forum 2007 主催：日本音韻論学会。場所：SGU，2007年8月

中 村 永 友：(研究発表)焦点回帰モデルの精確推定，2007年度統計関連学会連合大会(日本統計学会第76回大会，応用統計学会年次大会，日本計量生物学会年次大会)，神戸大学，2007.9.6-9

：(研究発表)変形バケットソートのバケット数の分布について，2007年度統計関連学会連合大会(日本統計学会第76回大会，応用統計学会年次大会，日本計量生物学会年次大会)，神戸大学，2007.9.6-9

：(研究発表)教科「情報」以後のコンピュータリテラシー教育，2007年度PC

Conference, CIEC (コンピュータ利用教育協議会) —— 全国大学生生活協同組合連合会主催, 2007.8.2-4, 北海道大学

: (研究発表) 変形バケットソートのバケット数の分布について, 第12回 情報・統計科学シンポジウム (BIG シンポジウム), 九州大学創立50周年記念講堂, 主催: 統計科学研究会 (福岡市東区箱崎6-10-1, 文部科学省21世紀COEプログラム, 九州大学大学院数理学研究院, 「機能数理学の構築と展開」, 拠点リーダー: 中尾充宏), 2007.12.7

: (研究発表) ある種の並べ替え算法における離散型確率分布モデル, 統計数理研究所共同利用研究重点テーマ「統計メタウェアの開発」共通公開研究会, 2008.2.27-28, 統計数理研究所

播磨谷 浩 三: (研究発表) 「近年の信託市場における市場構造の変化 —— 競争度の計測と信託市場の細分化 ——」 (家森信善氏との共著) 生活経済学会, 第23回研究大会, 沖縄県青年会館, 2007年4月

: (研究発表) 「証券業の再編と効率性の検証」 (奥山英司氏との共著) 日本金融学会, 2007年度春季全国大会, 麗澤大学, 2007年5月

: (研究発表) 「北海道におけるリレーションシップ・バンキング機能強化の検証」 (単著) 日本金融学会北海道部会, 北海学園大学, 2007年8月

山 田 智 哉: (国際学会発表) "On testing hypotheses for the coefficients of canonical vector." International Statistical Institute, Lisbon, 2007.08

: (口頭発表) "Shrinkage Estimation with Monotone Incomplete Multivariate Normal Data." University of Guelph, Canada, 2007.10